

## 経営理念

# 21世紀社会に貢献する 創造的、個性的な企業集団をめざし 人を活かし、技術を極め 未開の領域に挑戦し続けます。

地球環境への配慮と国際社会での良き企業市民であることを念頭におき、21世紀においても世界的に高く評価され、社会から求められる大同グループを創造していくことを大同特殊鋼社員共通の目標とします。  
そして、その目標実現のための基本を「人」と「技術」と「フロンティア精神」におきました。

### 「人を活かし」とは

人を尊重し、従業員一人ひとりが働き甲斐を感じ、社員の幸せと社会の発展が調和するような経営をめざしていきます。

### 「技術を極め」とは

当社は今後とも「ものづくり」により社会に貢献することが経営の原点であり、そのために常に最高の「技術」の追求が私たちに課せられた使命であります。

### 「未開の領域に挑戦」とは

単に新事業や新製品に挑むことにとどまらず、一人ひとりが勇気と情熱を持って新しいことに取り組む「フロンティア精神」を日常の仕事の中で実践することです。

この理念を実現していく原動力は、従業員一人ひとりの強い意気込みと責任ある行動であるといえます。

### クッチャロ 自然の森だいでう

日本最北端の地、宗谷岬から南へおよそ80キロ。北海道枝幸郡浜頓別町にあるクッチャロ湖は、1989年日本で3番目にラムサール条約\*登録湿地に指定され、手つかずの自然が多く残る北緯45度の秘境です。毎年春と秋には数万羽のコハクチョウが羽を休める中継地となり、冬にはオオワシや絶滅危惧IB類(EN)指定のオジロワシなど、さまざまな渡り鳥が飛来します。

この貴重な湖のほとりに、当社は土地を所有しており、森林の維持・保全に努めています。

2005年、当社はこの湖のほとりにある社有林を「クッチャロ 自然の森だいでう」と名づけ、環境保全・自然愛護啓発のシンボルとし、社会貢献活動のひとつとして環境教育などさまざまな環境活動を展開しています。

\*ラムサール条約:水鳥の貴重な生息地である湿地を保護する国際条約



# CONTENTS

全体版



- 02 大同特殊鋼と社会の関わり
- 04 トップメッセージ
- 06 **特集1 大同特殊鋼の環境への取り組み**  
**地球環境とともに**
- 08 **特集2 大同特殊鋼の安全への取り組み**  
**安全のために**
- 10 2010年度の主なトピックス
- 12 **【社会性報告】 社会への責任と貢献**
- 13 CSR経営
- 16 ステークホルダーに対する取り組み
  - 16 お客様に対する取り組み
  - 18 株主・投資家に対する取り組み
  - 19 地域社会に対する取り組み
  - 21 従業員に対する取り組み
- 25 **【環境性報告】 地球環境への責任と貢献**
- 26 環境マネジメント
- 31 環境負荷低減への取り組み
- 40 循環型社会を目指す取り組み
- 42 工場別データ
- 44 **【経済性報告】 コーポレートデータ**
- 44 大同特殊鋼グループの概要
- 45 関連会社一覧
- 46 ISO環境管理・監査システムへの対応

## 編集方針

企業は、社会の一員として、環境はもちろん社会全体の持続的発展に貢献することが求められます。当社では、こうした企業活動における社会的責任を包括的に伝えるツールとして、2006年度から環境報告書に代えてCSR報告書を毎年刊行しています。

## 対象と範囲

本報告書の読者対象は大きく分けて、当社のステークホルダー（お客様、株主・投資家、従業員、地域社会など、当社事業に関わるすべての方々）、公共機関、メディア、教育関係などを想定しています。報告対象範囲としては、社会性報告、環境性報告、経済性報告というトリプルボトムラインに沿ってカテゴリー分けをしています。

## 報告対象期間

2010年4月1日～2011年3月31日

## 報告書発行日

2011年10月（前回発行2010年10月）